

西小倉めぐみ教会通信

発行者 日本キリスト教団 西小倉めぐみ教会
〒611-0042 京都府宇治市小倉町西浦33-36
TEL&FAX 0774-20-3071 <http://www.n-megumi.com/>

「原発と神」

牧師 倉橋 剛

聖名を崇めます。多くの教会や信徒の方々のお祈り、そして尊いご献金をいただき私たちの小さな教会が神さまのご用のために働かせていただいただけ、本当に感謝しております。

私たちの教会では、心痛むあの3月11日以降、下記の決議を教会として為し、首相、衆参両院議長、経産大臣、文科大臣、環境大臣、内閣官房長官に送付しました。

「原子力発電に反対する決議」

2011年3月11日、東日本大震災が発生、地震や津波で約2万人の死者、行方不明者を出しました。その人達の魂に平安が有りますよう、祈り求めるばかりです。今回の大震災で、東京電力福島第一原子力発電所が大事故を起こしました。核のゴミ(放射性物質)をまき散らし広大な範囲を汚染しました。

現在、日本国内にある原子力発電所は17箇所、原子炉設置数は54基、稼働中のものもあれば停止中のものもあります。いずれにせよ、これらの原子力発電所の原子炉を稼働させれば、放射能を帯びた放射性物質を生成し、現在、この放射性物質を永久に処理する、使用済み核燃料サイクルも確立しておらず、環境に多大な放射性物質を放出している状況です。将来に亘っても同じ状況が続きます。放射性物質を残しながら、30~40年近く発電を行ってきた老朽化した原発が国内に多数あります。事故の可能性は極めて高い、と言わざるを得ません。

地震国、日本から原発を無くし、電力会社の独占を許す、地域独占体制を解体し発送電分離を行い、再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、風力、小規模水力、バイオマス、地熱、波力)を可能な限り利用して、原発の無い、綺麗な環境を後世に残すことは、私達の義務であると考えます。今回、私達はひとたび原発が大

事故を起こすと、どのような事態になるかを、多大な犠牲を払って体験しました。一つの原発で、地球規模の放射能汚染を起こす危険性があるということです。

政府、官僚、財界、学識経験者等は、自ら、世界でも最高度と言われていると自画自賛しながら、発展途上国に日本の原発技術を輸出しようとしています。もし最高度であっても核のゴミは出さざるを得ず、放射能汚染を世界に輸出することになります。このような原発の輸出に反対し、日本の脱原子力発電を速やかに進めて下さるようここに決議致します。 2011年12月

原子力資料情報室を設立された、故高木仁三郎さんは「科学の原理と人間の原理、『人間が天の火を盗んだーその火の近くに生命はない』」という冊子の中で、人間と原子力は共存出来ないと述べておられます。天の火とは太陽であり、また神であると思います。私たちキリスト者は、原子力の利用をそういう立場からも、認めるべきではないと断言しましょう。生命を守るためには、原子力は不必要なのです。

私たちの教会は本当に小さいながらも、弱い立場の方々と共に歩むこと、そして平和の希求という2つの大きな課題を与られています。上記の決議文は信仰に立って、2011年の歩みの中でどうしても声を上げなければ、と強く思わされたものです。

そして私たちは、被災された方々の事を心に深く留め、私たちに出来る事をこれからも考え続け、小さい力であっても行動していける教会であり続けたいと思います。

多くの困難の中にあるお一人お一人の上に主の慰めと励ましとがありますよう心よりお祈り致します。 在主

みんなでクリスマスを！

2011年 12月25日



教会創立30周年記念事業のしめくくりとして、12月25日夜、「みんなでクリスマスを！ シャンソン歌手、歌い語る」と題して、チャペル福音館（京都教区）の牧師でありシャンソン歌手でもある廣畑^る涙嘉さんと、ピアニストの西山遊さんを迎えてコンサート開きました。



廣畑さんによるクリスマスソングや反戦の歌、愛の歌などをじっくり聴いたほか、廣畑さんの歌唱指導により一同で合唱もしました。歌のもつ力を改めて感じたひとときでした。歌の間に廣畑さんは多くを語られました。大震災に思うこと、命の大切さ、マイノリティとして生きる誇り…。世界は1つの宗教だけでは対応できないと、宗教間の対話の必要と、そのために仏教の真言密教を学んでいることを語られたのは印象的でした。教会外の近隣の方々も含めて、よき交流の時がもてたことはとても感謝でした。

居場所「のんびり」をスタート

2011年7月10日

従来から取り組んでいるフリースペース「おやすみ」には年齢制限がありますが、どなたでも自由に利用でき、のんびりゆっくり過ごしてもらうことで少しでも心の休養がとれるようなもう一つの居場所「のんびり」を始めました。今のところ毎回何人かの方が、話をしたりパソコンをしたりして過ごしています。牧師及び教会員が輪番で担当しています。

〈時〉毎月 原則第2日曜 午後1時～3時

併せて、従来から当教会が取り組んでいる働きを紹介します。いずれも「西小倉めぐみ研修センター」の名義で、地域に開かれた取り組みとして行っているものです。

不登校・ひきこもりがちな青少年の居場所《フリースペース「おやすみ」》

子どもたち、若者たちにとって今の社会は本当に生きづらい社会になってきています。一人一人違う個性を持ち、また辛い環境の中で精一杯頑張っているにも関わらず、ひきこもりがちな若者たちに対し、「さぼってるんじゃないの?」「もっと頑張れ!」と無理解な周りの人たちの言葉がぶつけられ、さらに傷つき心も身体も疲れ果てている青年たちも少なくありません。

そんな現実を見ながら、少しでも、ゆっくりのんびり心を休めることの出来る居場所の必要性を強く感じ、家以外で安心して過ごせる場所として「おやすみ」を利用して頂けたら、こんなに嬉しいことはありません。

〈時〉毎週月曜日 午後2時～5時

〈対象年齢〉35歳まで

《歌ごえ》

月に一回、どなたでも参加できる楽しい歌の集いを持っています。地域の方々と気楽に好きな歌を歌って、良い交流の時を過ごしています。昼間一人で過ごしておられる方々とも一緒に楽しい時を過ごせたらと願っています。



〈時〉毎月第2金曜日 午後2時～3時半

東日本大震災ボランティアとして感じたこと 7月3日



この日は、当教会員であろうがい者施設の職員でもある田中仰さんの奨励を聴きました。田中さんは、京都府内の施設からの派遣により、4月から6月にかけて3回にわたり宮城県石巻市にある知的しょうがい者施設「ひたかみ園」に設置された福祉避難所にボランティアとして行って来られました。1回目は避難所の手伝い、2回目は炊き出し、3回目は仮設住宅への引っ越しの支援と、その時期のニーズに応じた働きをされ、その時その時自分が何をすべきか考えそれを具体化し

ていったお話を聴きました。直接現地に行くことが難しい私達にとって、少しでも思いを共有する時となりました。

藤田しなさん 100歳で召天 (記念会:11月6日)



2011年8月3日、当教会員の藤田しなさんが満100歳と6か月で天に召されました。藤田さんは、当教会が創立された1981年から礼拝出席され、同年70歳で受洗され、以来、いつも笑顔で暖かく当教会を見守ってこられました。

永眠者記念礼拝の11月6日、藤田さんの子、孫、ひ孫の代が集まれ、藤田さんの記念会も兼ねて礼拝を行いました。礼拝後は、故人の生前と同じようにいつもの食事をし、教会での故人の写真を見ながら思い出話をしました。意外と厳しい母であり祖母であった藤田さんの一面も語られました。午後は、城陽霊園の当教会の墓地で、あいにくの雨の中でしたが、納骨式と墓前礼拝を行いました。

(教会員からのコメント)

今振り返ってみますと、20数年前のことになります。私が初めて教会へ連れてもらった時、初めてお目にかかったのが藤田しなさんでした。藤田さんはあのやさしい笑顔で、もの静かにお話なさるお方で、本当に老人のお手本です。私も藤田さんのような老人になりたいと思っております。

片山 操



「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を讃美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年の創立以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。2005年から倉橋剛牧師を後任牧師に迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

西小倉めぐみ教会では、教会に集う人たち自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、倉橋牧師招聘後の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、なんとか牧師家族の生活を支えてきました。ところが、教区の財政状況も厳しく、2009年度から施行された京都教区宣教連帯援助金の制度では、一教会年間130万円が上限とされた中で、教会の支出を見直すとともに、牧師家族には様々な面で生活を見直していただき、切り詰めるられるところは切り詰めていただく等の努力をしていただいております。

そんな厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続けるため、今年度の創立30周年と併せて、宗教法人化の手続きを進めて基盤を強化すると共に、当教会の社会的はたらきをより広く知ってもらうための記念事業を進めています。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2012年 1月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄（醍醐教会牧師）

今までに御献金いただいた方のお名前(敬称略・順不同) 2011.06.20~2011.12.25現在

鴨東教会 山下茂雄 君村千代子 佐藤嘉子 川上 信 武 公子 福井達雨 難波 巧
広瀬規代志 中標津伝道所 埼玉新生教会 西条教会 中山勝矢 川染三佐子 関 雅人
京都上賀茂教会 千歳教会 美藤 章 竹内富久恵 箕面教会 東京山手教会 片山公平
亀戸教会 琴浦教会 芦屋山手教会 目白町教会 高幡教会 近藤英子 田中 晁・千栄
西本 愛 小曾根一枝 杉本節子 橋本 博 門戸幸子 岩城澄子 倉橋 剛・容子
(81件 計 507,000円)

支える会の会計が大変逼迫しています。引き続きご支援をよろしく願いいたします
振り込み口座番号(ゆうちょ)…00970-2-79224 (加入者名 西小倉めぐみ教会を支える会)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信の1号から12号までも掲載しています。是非一度ご覧ください。アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしく願います。